

高齢者施策について

富野 孝之 議員

問 ①高齢者移動支援事業の現状と今後は？「外出難民化予防」の迅速な広域化の為に、学童保育所やこども食堂で見られるようなボランティア組織と行政との協働を提案します。②買物支援事業の現状と課題は？私も高齢者の立場に立って調査研究を重ね、買い物の困りごとを支援できるような知識を身に付けたいと思っています。

答 ①高齢者移動支援事業は、これまで延べ723名の方が利用され、高齢者が社会参加することで健康寿命の延伸に繋がると考えています。今後は、矢田地区の矢田山方面への拡大や筒井地区での実施に向けて協議しています。②自治会・民間事業者と連携し、移動販売のニーズを把握し、公共交通空白地での買物支援を進めます。

大阪高等裁判所判決について

丸谷 利一 議員

問 法に基づく競争入札せず買い手の半額要求を丸呑みしたJR郡山駅東側市有地売却をめぐる住民訴訟で大阪高裁判決は住民側の訴えを退けた。市長は、行政の妥当性と適正運営が認められたとコメントしたが、本市有地売却は市民に損害を与えた不適正なもの。判決は妥当で適正な行政運営をしたとの内容ではない。その点はどうか。

答 今回の大阪高裁の判決は、裁量権の逸脱、乱用ではないという判断をされたと受け止めています。よって、本件は裁量権の範囲内ということで、適切な判断に基づいたものであるとコメントをさせていただきました。

・他の質問項目：介護予防と地域福祉事業の進捗について

.....2日目.....

将来の大和郡山市の都市構想について

乾 充徳 議員

問 昨年、第3次大和郡山市都市計画マスタープランが公表され、10年先の本市の将来像が示されました。まちづくりの方針と、農業・産業・雇用の振興策について、本市ではどのようにお考えでしょうか？

答 第3次マスタープランでは、本市の強みである広域交通のネットワークを活かした産業振興の基本方針を策定し、農業においては、本市特産品のイチゴ・イチジク・大和丸なすの産地振興に取り組むとともに、産業・雇用の分野では、地区計画の手法を活用した企業誘致の枠組みづくりと企業からの要望等に、県や庁内関係部局と連携しながら、スピード感をもって対応してまいります。

・他の質問項目：忠魂碑について

上田市政の現状と今後について

金銅 成悟 議員

問 市営球場のスコアボードは平成12年のカミナリが原因で使用不能になっています。令和13年に奈良国民スポーツ大会が開催されることを見据え、使用会場となるためにも、スコアボードの電光掲示板化と内野グラウンドの排水管の入れ替えについて答弁を求めます。

答 国民スポーツ大会の開催は、施設整備の面において「一つの大きな契機」と考えています。市営球場のスコアボードは、長年の課題であり、グラウンド整備も含め数々の課題があります。今後、本市における国民スポーツ大会の競技指定がなされれば、大会開催の基準や、中央競技団体の指導に合致するように、施設整備を進めていきたいと思っております。

①地方創生臨時交付金の活用について

②トイレ改修について 福田 浩実 議員

問 ①地方創生臨時交付金の追加交付により、医療機関や薬局等への支援も加味して頂きたいが現状は？②城ホール洋式トイレを温水洗浄便座へ改修を要望していましたが現状は？市内公共施設の男性トイレにサンタリーボックス設置と設置されていることがわかる表示を求めますがお考えは？災害時における避難所のトイレ対策は？

答 ①医療機関及び薬局等からの支援要望は聞いていませんが今後注視します。②城ホールのトイレ改修について関係部局と協議中です。サンタリーボックスを男性トイレに設置し、表示については検討します。避難所のトイレ対策については、水無しで使用できる処理材等を購入しており訓練や防災の勉強会等で周知を行っています。

エビデンスに基づいた政策立案の推進について 関本 真樹 議員

問 従来の勘や経験に基づくものではなく、緻密なデータ分析に基づいた政策立案の重要性が高まってきています。本市においてエビデンス(根拠)に基づいた政策立案(EBPM)をどう進めていくかお聞かせください。

答 政策の立案にあたっては、市民にとっての重要性や緊急性、課題解決に向けた有効性や費用の妥当性など、エビデンスも含めて様々な角度から議論して決定しております。また、可能な限りのデータを積み重ねることの大切さに加え、市民の生の声を聞くことが非常に大事なことであると考えています。これからも、EBPMを色々なところに取り入れ、意識しながら施策を進めていきたいと考えております。